

李 佑安  
LI Youan



再現する平凡

エッチング、インク、銅版

## 再現する平凡

無意識のうちに、私たちは記憶のフィルターを携えて目の前の生活を観察している。同じ風景でも観察者によって千差万別である。

過去の日々が、私の身に刻まれていた本能、衝動、思想、欲望、生命力の要素はいったい何を繰り返し考えているのか。多くの思い出の風景が半透明のレイヤーのように混沌として重なり、それらがほぼ真っ黒に重なり合っている形の中で、バラバラな文字をいくつか複雑に立ち上がってきた。父権、矛盾、虚無、沈黙、滞留、継承、逃走、再建。

私の作品は、記憶の風景と現在の日常生活の相互作用を描いている。作品のキャラクターは私を参考しているが、完全に私自身ではなく、時には構想したキャラクターであり、時には家族全体の女性のイメージの集合である。私は、意識的、隠喩的、荒唐無稽なフィルターで平凡な生活の表面下に潜む異様さを再現しようとする。

作品では、銅版画のエッチングと写真転写を組み合わせ、写真と絵画のコラージュによって視覚的に質感の対比と衝突を生み出していきたいと考える。同時に、私は写真を現実の再現と見なし、絵画を嘘の現実と見なし、空間感を捨て、代わりに装飾効果を用い、嘘と現実を強引に同一の平面に押し込めて、両者の間の距離感を打ち消そうとしている。点描を描く一方で、「絵を描いているの感覚」を作品の表現に取り込む十分な時間があり、そして作品の内容は「過去の記憶」、「現状の再現」、「手の感触」の三つの次元に固定される。一見で論理のない画面要素は、逆に必然の結果でもあるかもしれないだろう。私たちは常に目の前の生活を規則正しく続けていくために、複雑な世界を理解している。しかし、それぞれの解釈の違いによって世界はさまざまな姿に描かれている。このことに気づいた後、私は客観的な真実への執着を諦め、代わりに自問する。このすべでは私にとって何を意味するのだろうか？自己の核心の理解を整理し、修正していくことで、逆に世界の様子を推論することは、刺激的でロマンチックな旅ではないだろうか。